

高等技術専門校、労働雇用創生課
令和元年 ●月策定
対象期間: 令和2~5年度

『熊本県立高等技術専門校施設内訓練ビジョン』【1枚説明版】

- 校の施設運営目標や自動車車体整備科、電気配管システム科、総合建築科の訓練内容の具体的な充実策等を今回、初めてビジョンとして策定したものを。
- 策定に当たっては有識者等による「職業能力開発施設拠点化 高等技術専門校施設内訓練検討委員会」を平成31年3月に新たに設置し助言を得た。

第1 熊本県立高等技術専門校の施設概要

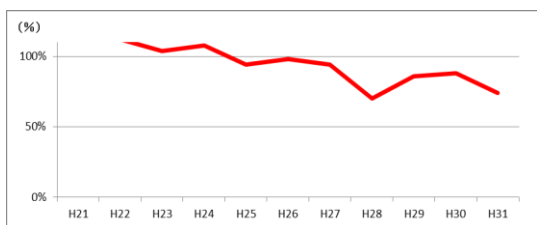
- ・所在: 熊本市南区幸田
- ・敷地面積: 20,096㎡ ・建物総床面積: 8,775㎡
- ・職員定数: 約46人
- ・施設内訓練3科の施設定員数: 115人(1年当たり50人)

校目的 専門校では高度な知識と即戦力となる技術、技能を習得した有能な技術者を養成し、職業の安定と働く人の地位の向上を図り、**本県の地域産業と社会の発展に寄与する。**

※ 下線部分を今回追加

第2 専門校の施設内訓練の現状

3科の定員充足率



修了者の就職状況

(施設内訓練3科合計)		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
修了者数		41	45	39	39	42	37	43	33	28	35
就職者数(A)		35	38	37	38	39	37	42	33	27	35
自営・縁故・自己就職		3	4	1	1	0	0	6	0	1	
進学他		6	7	2	1	3	0	1	0	1	0
求人	県内	45	59	59	67	87	81	70	50	76	94
	県外	14	11	12	12	24	29	42	58	53	63
求人計(B)		59	70	71	79	111	110	112	108	129	157
求人倍率(B/A)		1.69	1.84	1.92	2.08	2.85	2.97	2.67	3.27	4.78	4.49
就職	県内(D)	31	35	31	37	37	31	38	20	21	35
	県外	4	3	6	1	2	6	4	13	6	0
就職者計(C)		35	38	37	38	39	37	42	33	27	35
未決		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就職率(C/A)		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
県内就職率(D/C)		89%	92%	84%	97%	95%	84%	90%	61%	78%	100%

第3 育成する人材像(3科共通の大目標)

今回設定

1級相当の高い技術力を有する人材

豊かな社会性を持った人材

基礎技術の習得を図ったうえで、1級自動車整備士、第1種電気工事士、1級技能士(建築配管・建築大工)など、これらの職種における1級資格に相当する高い技術力を有する即戦力人材を育成していく。

- 広い視野と探究心を備え、実践の場で発生する課題・問題を自ら発見し対応できる人材
- 技術者が持つべき倫理観を備えた人材
- 礼儀とマナー、コミュニケーション能力を兼ね備えた人材

第4 各訓練科の教育訓練の充実に向けて

自動車車体整備科

- ・環境問題に対応する技術革新(次世代自動車普及)
- ・電子制御技術の高性能化と技術革新による自動制御や安全性能の進化
- ・通信技術の導入
- ・金属接合方法に接着技術、塗装方法の高度化
- ・ボデー新素材の導入
- ◇ 業界ニーズに対応する人材供給の継続
- ◇ 就職先決定前のインターンシップ実施
- ◇ 基礎技術、接客対応、スキャンツール点検技術の習得
- ◇ 個人情報の保護・管理に関する訓練

電気配管システム科

- ・ユニバーサルデザイン設備機器の普及
- ・太陽光発電設備の施工拡大
- ・IoTと連動したスマートホーム技術の進展
- ・耐久性、耐震性に優れた配管材料導入の進展
- ◇ 業界ニーズに対応する人材供給の継続
- ◇ 基礎技術の確実な習得
- ◇ 関係資格の取得と実践的訓練の実施
- ◇ 電気工事業界で活躍できる人材育成(競技大会参加要請)

総合建築科

- ・プレカット住宅の主流化
- ・様々な建築工法の普及
- ・接合金物の進化
- ・基礎パッキンの開発・普及
- ・集成材の普及
- ・手書き図面からCADへ
- ・ベタ基礎の主流化
- ・根太レス工法普及
- ◇ 業界ニーズに対応する人材供給の継続
- ◇ 基礎技術の確実な習得
- ◇ 現場に対応できる人材育成
- ◇ 離職防止・職場定着の強化
- ◇ 接客対応技術の習得
- ◇ 実際の現場を想定した熱中症対策

最近の技術進歩

本県関係産業の期待・要望

訓練科で育成する人材像

今回設定

- ① 新技術に対応した整備技術を身に付けた人材
- ② 就職先定先の技術や業務に即したオーダーメイド型訓練の実施による即戦力人材

- ① 建築設備工事全般に対応できる、施工管理技士(電気・管工事)に必要な基礎知識・技能(技術)及び関連資格を身に付けた人材
- ② 新築工事のみではなくリニューアル工事も含め、多様な現場で、施工上の問題・課題を自ら発見し、考え、対応できる人材

- ① 古民家再生から現代住宅に対応できる建築大工に必要な基礎知識・技能及び関連資格を身に付けた人材
- ② 地震等自然災害からの復興や高齢化社会において建築が抱える諸課題に対応できる人材

訓練目標(再)設定

今回設定

今後更に充実していく教科目等

2級自動車整備士、車体整備士の資格を取得し、さらに以下の知識及び技術・技能を身に付けていること。

- 1 基礎
 - ・エンジン、シャシ、付属装置及び車枠、車体の整備
 - ・機械器具及び測定器の取り扱い
 - ・定期点検整備
 - ・自動車塗装
- 2 応用
 - ・主要装置の故障診断
 - ・自動車の総合的な検査
 - ・自動車の損傷診断
 - ・自動車塗料の調色及び補修塗装
- 3 新技術
 - ・電力を動力源とした自動車の基本構造の理解
 - ・高度な電子制御技術(通信、自動車制御等)の基礎技術
 - ・最新の金属接合や樹脂素材、塗装方法の基礎技術
 - ・企業ニーズに対応した技術

※ 下線部分を今回追加

- 1 第二種電気工事士としての必要な知識と技能を習得(第二種電気工事士免状の取得)
- 2 第一種電気工事士試験に合格すること
- 3 シーケンス制御の基礎的な制御回路を理解し、基本回路の設計・配線ができること
- 4 太陽光発電システムの概要を理解し、施工方法を習得できること
- 5 情報通信技術の進歩の合わせたLAN工事の施工方法を習得できること
- 6 2級電気工事施工管理技士試験(学科)及び2級管工事施工管理技士試験(学科)に合格すること。
- 7 コンピュータでの操作を理解し建築設備設計図のCADによる作図ができること
- 8 一般住宅及び中層建築物の配管施工図の読図と作成ができ、給排水・ガス配管・空調設備の施工ができること
- 9 高圧ガスに関する知識と技能を習得すること
- 10 ガス溶接、アーク溶接の資格を取得するとともに作業ができること
- 11 消防設備士としての必要な知識と技能を習得すること
- 12 エコキュートシステムの概要を理解し、施工方法を習得できること

※ 下線部分を今回追加

- 1 大工道具の手入れ、ノミ研ぎ、鉋刃研ぎ等ができること
- 2 大工道具の正しく正確な取扱いができること
- 3 木材の基本的な扱いや継手・仕口を墨付け加工ができること
- 4 基礎工事作業ができること
- 5 建て方作業ができること
- 6 内部造作作業ができること
- 7 建築大工技能士2・3級の資格を取得できること
- 8 建築図面について手書き及びCADにより作図ができること
- 9 耐震補強の知識や施工技術を身に付けること
- 10 バリアフリー等の施工技術を身に付けること

※ 下線部分を今回追加

第5 本県の地域産業に対する人材の輩出に向けて

- 訓練生確保に関する取組み
- 県内就職者を増加させるための取組み

第6 専門校の指導員の教育力の向上に向けて

- 指導員体制の充実
- 各指導員の資質向上

第7 ビジョンの進捗状況管理(PDCA)について

毎年度、「専門校連携推進協議会」に諮りビジョンに掲げた各取組みの進捗状況を点検・評価等していく。

- ア 自動車の進化(技術開発)に対応する技術の習得
 - ◇ 環境問題に対応する技術
 - ◇ 次世代自動車
 - ◇ 高度かつ最新の電子制御技術、通信技術、電動技術
 - ◇ 自動制御技術
 - ◇ 金属接合技術、高度な塗装方法技術
 - ◇ 樹脂素材の補修方法技術
 - ◇ 個人情報の保護・管理
- イ 県内企業の即戦力となる人材育成(個別訓練)
 - ◇ 就職先定先の企業が求める技術へのオーダーメイド対応
 - ◇ 就職後を見据えたインターンシップ
 - ◇ 業界動向や技術革新に関する最新情報取得

- ◇ 外部人材による講話等の充実
- ◇ ビジネスマナー等の習得

- ◇ 顧客満足を高める接客対応能力やコミュニケーション能力等の習得
- ◇ モノづくりに関する基礎的な素養の習得

- ア 高効率・省エネ機器の施工技術の習得
 - ◇ 高効率・省エネ機器/インバータ制御 施工技術
 - ◇ IoT、ZEH、HEMSなど建築設備に関連する先進システムの模擬実習
- イ 建築物の長寿命化に対する老朽化補修・リニューアル技術の習得
 - ◇ メカニカル継手 施工技術
 - ◇ ライニング鋼管 施工技術
- ウ 1級技能士の技能検定実技課題の実施

- エ 各種競技大会を活用した技能習得レベルの向上等
 - ◇ 技能五輪全国大会・若年者ものづくり大会に向けた特訓
 - ◇ 業界動向や技術革新に関する最新情報取得

- ◇ パソコンの基本的操作の習熟
- ◇ 4S(整理、整頓、清掃、清潔)の徹底

- ア 一般住宅における金物に頼らない伝統構法の基礎技術の確実な修得
 - ◇ 新築及びリフォームや古民家再生工事等の見学実習
 - ◇ 模擬実習(住宅1棟)による技能習得
- イ より高度な建築知識・技術の習得
 - ◇ 3D-CAD
 - ◇ 耐震構造や補強技術
 - ◇ バリアフリー改修工事等
 - ◇ 広い視野を持った大工育成
 - ◇ 森林保全・林業振興施策に関する素養を持った大工育成
- ウ 業界動向や技術革新に関する最新情報取得
- ウ 関連資格等の取得支援
 - ◇ 玉掛け作業、足場の組立て等作業の資格